大阪情報コンピュータ専門学校 授業シラバス (2025年度)

専門分野区分	企画・表現基礎	科目名	CG概論					科目コード	D3300A2	
配当期	前期	授業実施形態	通常					単位数	2 単位	
担当教員名	澤田 卓也	履修グループ	1J(DG/DR/DT/DW/MA/MT)					授業方法	講義	
実務経験の内容	SPデザイナーとしてデザイン会社で2年、商品制作会社で2年間の経験を積んだ後、フリーランスとして10年以上にわたり、各企業のディレクション業務を担当しました。この経験を活かし、実践的な知識とスキルを学べるよう、演習形式で指導を行います。									
学習一般目標	映画、アニメーション、ゲーム、写真、広告(DTP、WEB)などのコンピュータグラフィックの歴史、用途について幅広く理解できる。文字、色を目的の応じた使い方があることを理解できる。各種CGファイル形式について、特徴と用途を理解できる。今後、自身が制作する作品などの知的財産権について理解できる。									
授業の概要および学習上の助言	2次元CG・3次元CG・デザインに関する基礎的な理解と知識の習得。 テキスト「入門CGデザイン」の各チャプターに合わせて進行するためテキストは毎回持参すること、また、理解力を定着させるために授業の復習を各自で行うこと。 その他、様々な芸術分野の情報や作品を紹介するため、必ずメモ帳を持ってくること。									
教科書および参考書	「入門CGデザイン -CG制作の基礎-」									
履修に必要な予備知識や技能	CG、各種デザインに対し日ごろから興味を持って接すること。また、それらがどういった見せ方をしているか、色使い、フォント、構図(レイアウト)、カメラワーク、トリミングなどについて、制作者がどのような意図をもたせているのか注意深く考察するよう心がけること。									
使用機器										
使用ソフト	Adobe: Illustrator／Adobe Photoshop									
学習到達目標	学部DP(番号表記)	学生が到達すべき行動目標								
	1	CGの歴史と特性、産業分野における幅広いCGの利用のされ方について理解する。								
	1/2	CG制作の基礎知識として、デッサン、色と動きの基礎特性、文字について理解する								
	1/2	2次元CGにおける基礎知識、写真撮影及び加工について理解する。								
	1/4	ハードウェアとソフトウェア、アナログデータとデジタルデータの基礎を理解する。								
	1	知的財産権について理解する。								
達成度評価	評価方法	試験	小テスト	レポート	成果発表(口頭・実技)	作品	ポートフォリオ	その他	合計	
	学部DP	1.知識・理解	20	10						30
		2.思考・判断	10				10			20
		3.態度							20	20
		4.技能・表現					20			20
		5.関心・意欲							10	10
総合評価割合	30	10			30		30	100		
評価の要点										
評価方法	評価の実施方法と注意点									

試験	授業内において、講義内容に沿ったテストを出題し、理解力を確かめる。 基本的に授業内で取り上げた内容からの出題になるので復習を心掛けてください。
小テスト	授業内において、講義内容に沿ったテストを出題し、理解力を確かめる。 基本的に授業内で取り上げた内容からの出題になるので復習を心掛けてください。
レポート	
成果発表(口頭・実技)	
作品	課題に対する表現の工夫、取り組み姿勢等で判断する。
ポートフォリオ	
その他	授業への出席、授業に対する取り組み姿勢・態度、授業内容の理解度など総合的に判断する。

授業明細表

授業回数	学習内容	授業の運営方法	学習課題(予習・復習)
第1回	01週目:課題01「未来へのアンケート」 ・科目オリエンテーション、CG映像制作のワークフロー ※ 09週_課題09の「知的財産権」と連動します	講義	教科書P8～25_chapter01～02
第2回	02週目:課題02「遠近法」 ・表現の基礎、デッサン、透視図法と視覚的遠近図法	演習	教科書P28～33_chapter02
第3回	03週_課題03「色彩の基本」 ・色の三属性(色相/明度/彩度)、三原色 ※ 03週目～04週目の2回に渡って演習をします。	演習	教科書P33～35_chapter02
第4回	04週_課題04「色彩の基本」 ・配色の応用と基礎技術	演習	教科書P33～35_chapter02
第5回	05週_課題05「標本化」 ・解像度と画素数の計算の準備(標本化作業) ※ 05週目と06週目に渡って連動します。	演習	教科書P44～49_chapter03
第6回	06週_課題06「解像度と画素数の計算」 ・標本化と解像度の関係、画素数と画像サイズの関係	講義	教科書P44～49_chapter03
第7回	07週_課題07「明朝体とゴシック体」 ・文字の基本	演習	教科書P38～39_chapter02
第8回	08週_課題08「知的財産権」 ・著作権、産業財産権、その他の権利 ※ 08週目～09週目の2回に渡って講義をします。	講義	教科書P147～154_chapter06
第9回	09週_課題09「知的財産権」 ・01週目_課題01の「未来のアンケート」で検索した判例や事例内容の発表とセッション。	講義	教科書P147～154_chapter06
第10回	10週_課題10「詩画」 ・梅雨をテーマにした自由作画	演習	
第11回	11週_課題11「中間試験問題」 ・小テストと質疑応答、復習	講義	
第12回	12週_課題12「写真撮影と構図」 ・カメラの構造と露出設定、被写体の制作と配置 ※ 12週目～13週目の2回に渡って演習をします。	演習	教科書P50～57_chapter03
第13回	13週_課題13「写真撮影と構図」 ・構図と画角、課題12で制作した被写体の撮影	演習	教科書P50～57_chapter03

第14回	課題解決型授業1 14週 課題14「表現と技術」 範囲: 課題の内容に沿って「回答記入欄01」に記載 期限: 2025年05月31日～6月06日 提出: 2025年06月06日以降の授業中 ※ 14週目～15週目に渡って連動し、出題の内容も同じ。	遠隔授業 実施期間: 1期	
第15回	課題解決型授業2 15週 課題15「表現と技術」 範囲: 課題の内容に沿って「回答記入欄02」に記載 期限: 2025年07月05日～07月11日 提出: 2025年07月11日以降の授業中に確認します	遠隔授業 実施期間: 3期	